

特別管理産業廃棄物処理計画書		令和 6 年 6 月 24 日
熊本市長	（宛）	
		提出者 住所 熊本市南区近見5-3-1 氏名 社会福祉法人恩賜財団済生会熊本病院 院長 中尾 浩一 （法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 電話番号 096-351-8000
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。		
事業場の名称	社会福祉法人恩賜財団 済生会熊本病院	
事業場の所在地	熊本市南区近見5-3-1	
計画期間	令和 6 年 4 月 1 日 から 令和 7 年 3 月 31 日 まで	
当該事業場において現に行っている事業に関する事項		
①事業の種類	医療業	
②事業の規模	病床数 400 床	
③従業員数	2118 名	
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	・ 感染性廃棄物→焼却→燃え殻を管理型埋立 →燃え殻を管理型埋立 和→埋立処分 →埋立処分 ・ 引火性廃油→焼却 ・ 強アルカリ→中 ・ 強酸→中和	

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙管理体制図参照

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（令和 5年度）実績】									
① 現状	特別管理産業 廃棄物の種類	感染性廃棄 物	廃油	廃酸	廃アルカリ				
	排出量	330.48 t	4.10 t	0.07 t	0.36 t	t	t	t	t
	特別管理産業 廃棄物の種類								
	排出量	t	t	t	t	t	t	t	t
（これまでに実施した取組）									
院内管理規定に基づき感染性廃棄物と非感染性廃棄物の徹底した分別を行う									
【目標】									
② 計画	特別管理産業 廃棄物の種類	感染性廃棄 物	廃油	廃酸	廃アルカリ				
	排出量	330.00 t	4.00 t	0.07 t	0.36 t	t	t	t	t
	特別管理産業 廃棄物の種類								
	排出量	t	t	t	t	t	t	t	t
（今後実施する予定の計画）									
引き続き院内管理規定に基づき感染性廃棄物と非感染性廃棄物の徹底した分別を行う									

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

① 現 状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	感染性廃棄物について、性状に応じたバイオハザードマークの色分けによる分別を徹底する
② 計 画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	現状通り

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】								
①現状	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	廃油	廃酸	廃アルカリ			
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t
	特別管理産業廃棄物の種類							
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t
（これまでに実施した取組）								
【目標】								
②計画	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	廃油	廃酸	廃アルカリ			
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t
	特別管理産業廃棄物の種類							
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t
（今後実施する予定の計画）								

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和5年度）実績】								
①現状	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	廃油	廃酸	廃アルカリ			
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t
	特別管理産業廃棄物の種類							
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t
（これまでに実施した取組）								
【目標】								
②計画	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	廃油	廃酸	廃アルカリ			
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t
	特別管理産業廃棄物の種類							
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t
（今後実施する予定の計画）								

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

【前年度（令和 5年度）実績】									
① 現状	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	廃油	廃酸	廃アルカリ				
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	特別管理産業廃棄物の種類								
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
（これまでに実施した取組）									
② 計画	【目標】								
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	廃油	廃酸	廃アルカリ				
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	特別管理産業廃棄物の種類								
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
（今後実施する予定の計画）									

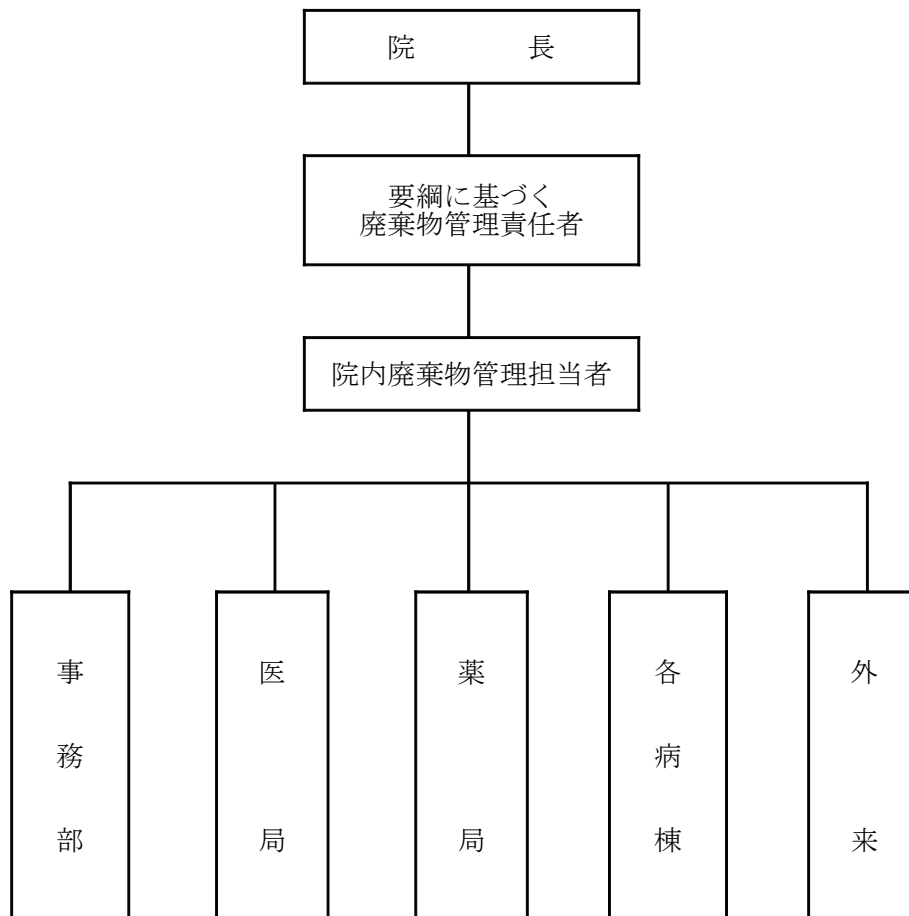
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

[illegible]

① 計画	【目標】												
	特別管理産業 廃棄物の種類	感染性廃棄物		廃油		廃酸		廃アルカリ					
	全処理委託量	330.00	t	4.00	t	0.07	t	0.36	t		t		t
	優良認定処理業者 への処理委託量	330.00	t	4.00	t	0.07	t	0.36	t		t		t
	再生利用業者 への処理委託量		t	4.00	t	0.07	t	0.36	t		t		t
	認定熱回収業者 への処理委託料		t		t		t		t		t		t
	認定熱回収業者 以外の熱回収を行う 業者への処理委託量		t		t		t		t		t		t
	特別管理産業 廃棄物の種類												
	全処理委託量		t		t		t		t		t		t
	優良認定処理業者 への処理委託量		t		t		t		t		t		t
	再生利用業者 への処理委託量		t		t		t		t		t		t
	認定熱回収業者 への処理委託料		t		t		t		t		t		t
	認定熱回収業者 以外の熱回収を行う 業者への処理委託量		t		t		t		t		t		t
	(今後実施する予定の取組)												
	・ 優良認定処理業者へ処理を委託する ・ 処理施設の現地確認 ・ 職員等への分別に関する指導、教育の徹底												
電子情報処理組織の 使用に関する事項		【前年度（令和5年度）実績】											
		特別管理産業廃棄物 排出量 (ポリ塩化ビフェニル 廃棄物を除く。)	335.011								t		
		(今後実施する予定の取組等)											
電子マニフェストを導入済み													
※事務処理欄													

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
- (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2) ④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了
工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規
模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3) ④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産
業廃棄物についての発生から最終処分が終了
するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種
類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産
業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及
び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種
類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄
物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分
するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごと
に、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃
に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、
処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15
条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設
置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取
組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量
（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）
を記入すること。その量が50トンを超える者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関す
る取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物処理及び清掃に関する法律施行
規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のと
おり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業
廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該
欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がな
いときは、「一」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。



第 面 について